

## 第 25 回グリーンプランおおた推進会議 議事概要

**日 時** 令和元年 7 月 9 日（火）18：00～20：00

**会 場** 蒲田地域庁舎 5 階 大会議室

### **出席者**

【推進会議委員】 島田委員長、池邊副委員長、加藤委員、中村委員、長谷川委員、相川委員、牧野委員、原田委員、菅原委員、龍口委員、齋藤委員、久保委員、落合委員（欠席：樋口委員）

【庁内委員】 都市基盤管理課長、道路公園課長、公園施設担当課長、環境計画課長、環境対策課長、産業振興課長（代理）、都市計画課長、建築審査課長、企画調整担当課長（欠席：施設整備課長）

【臨時出席者】 基盤工事担当課長

【傍聴者】 4 名（区職員 3 名）

【事務局】 5 名

### 1 開会

### 2 議事

#### （1）委員長及び副委員長の選出

##### **事務局**

- ・「グリーンプランおおた推進会議設置要綱」第 5 条第 2 項により、委員長及び副委員長は委員の互選になっている。

##### **委員（まちづくり推進部長）**

- ・これまでの実績等を踏まえて、島田委員に委員長、池邊委員に副委員長として推薦させていただきたい。  
（拍手で全会承認）

#### （2）第 24 回グリーンプランおおた推進会議の振り返り

##### **委員長**

- ・特にご意見等無ければ、前回の議事概要については、個人名等を取り除いて区の HP へ掲載する。

#### （3）平成 30 年度みどりの実態調査概要版 報告

##### **委員長**

- ・実態調査の結果についていかがか。

##### **委員**

- ・20 年計画でみどりを増やしていこうということだが、計画を立てた時が 20.47%で、10 年たってマイナス 2%の 18%となっている。
- ・現状こうなっていることは理解したが、最終目標である 10 年後の目標値と現状としての数値の

判断はどう考えているのか。

→**事務局**

- ・現時点での目標年度は 2020 年であり、緑被率 20.9%の確保を目標にして進めてきたが、今回数値としては下がってしまった。
- ・当時の考え方としては、大田区民 1 人あたり 1 m<sup>2</sup>のみどりを増やしていこうという目標があり、これが確保できれば、目標の緑被率を確保できるという計画であった。
- ・Ⅱ期実施計画においてはこのような現状を受け止め、新たな計画を進めていきたい。

**委員長**

- ・来年度、計画の見直しの時点で数値の見直しも行うので、この 10 年間の実績も踏まえて議論したい。

**委員**

- ・世田谷区には、みどり 33 推進担当部という部局がある。
- ・みどり 33 というのは、区政 100 周年目にみどり率を 33%にしたいという分かりやすい目標を掲げているということであった。
- ・大田区も 20 年後はどの数字にするか、大きな方針を掲げてほしいと思う。

**委員（まちづくり推進部長）**

- ・区としては、緑を増やすということは当然必要であるが、同時に緑を身近な生活圏におくことにより快適性の向上や安らぎなどを感じていただくということと、緑による都市形成を目的としている。
- ・数値も大事だが、それだけでなく何を目的とするかということについても議論を深めていきたいと考えている。

**委員**

- ・緑被率 18.32%とあったが、この数値について都や近隣区の平均などの数値は出ているのか。
- ・この数値だけでは大田区がどういう位置づけとなるのかわからないので教えていただきたい。

→**事務局**

- ・大田区の緑被の順位は 23 区中 10 位となっており、江東区は緑被率が 18.7%となっている。

#### (4)グリーンプランおおた平成 30 年度実施事業の進捗状況報告

**委員長**

- ・平成 30 年度については、順調に推移しているということであった。
- ・新区民委員の 3 名には、事務局から平成 30 年度実施事業について詳細な説明があったとのことだが、ご感想等があれば一言ずつお願いしたい。

#### 委員

- ・区民委員 3 名が、2 時間 30 分ほど今回配布された資料を全項目、それぞれ担当者から説明していただいた。
- ・本当に事業として区民に対しやってよかった事業やお金のかかっている事業など、重点項目を絞って説明した方が、より関心が高まったのではないかと思う。
- ・グリーンプランには環境という意味もあると思うので、緑を増やすだけでなく水辺の環境を良くする等していただきたい。
- ・暮らしやすい環境の整備など、グリーンの面が前に出すぎているのではないかということが気になる。

#### 委員

- ・これだけの時間と予算と人手をかけて事業を行っているが、区民には伝わっていないのではないかと感じた。
- ・きれいなパンフレットを多く作成しているが、おそらく多くは区民の手元にほとんど届いていないという状況である。
- ・これだけの事業をやっているが区民に届かないのは凄くもったいないと思ったので、啓発活動についても議論を深めていきたいと感じた。

#### 委員

- ・緑の条例の件数を前年と比較するとわずか7分の1に減っているが、このような基本的な数値については、前年度と比較ができるよう数値を出してほしい。
- ・これは大規模開発が前年に行われたためということであるが、零細な開発が行われると緑があまり増えないこととなるため、緑を考えた場合には中高層の建物が増えるよう指導した方が良いと思う。
- ・大田区にとって、多摩川や臨海部については大変な環境資源であり、これを十分に活かすようなブルートライアングルプロジェクトは非常に素晴らしい計画であると思った。
- ・さらに新スポーツ健康ゾーンなど、海辺の魅力ある散策が楽しめるようなプロジェクトを考えてはいかがか。
- ・例えば、江東区とつないだ海辺のサイクリングロードなどを整備して、樹木や花を植えて東京都民全体が楽しめるような画期的な事を提案していくと良いと思う。
- ・最後に桜の名所の保全・再生ということについて、この2年間程度多摩川台公園から多摩川堤などを散策しているが、ゴールデンコースと名付けるほど素晴らしいコースだと感じている。
- ・多摩川の桜の土手に大根の白い花が咲いており、背景のマンションも映えて、これが桜を非常に引き立てており素晴らしい景観である。
- ・これをもう少し応援して、水と緑と花を繋げるような散策路を、湾岸地域を含めて整備してほしい。

## 委員長

- ・区民の方の意見は第3者評価的な外部評価となるので、やれるものはしっかり検討し実行するなど配慮をお願いしたい。
- ・併せて、3名の区民委員以外の方々においても、平成30年度の実施事業につきまして、ご意見等があれば伺いたいと思うがいかがか。
- ・もし何かご意見があれば、2週間後の7月23日（火曜日）までに事務局あてにご意見をいただきたいとのこと。
- ・平成30年度事業の進捗状況報告については、次回第26回グリーンプランおた推進会議で最終的な承認をいただく予定。

## （5）令和元年度の主な取組みについて

### 委員

- ・ユニバーサルデザイン整備事業では、公園を魅力ある公園としていくには人が入ってきて楽しんでいる、ということが重要だと思う。
- ・整備前整備後の人びとからの評価がどのように変わったのかについて、来る人が増えたのか、公園が綺麗になってリフレッシュできたかななどを、数値としてとれるような評価の仕組みを考えて欲しい。
- ・ハード面だけではなくソフト面でも、その整備によって区民がどのように感じたのか、どのように活用したのか等評価ができるように事業を進められたら良いと感じた。
- ・公園の中のトイレについて、公園ごとに特徴のあるトイレを整備しているようであるが、クリーンエネルギーで節水もできて、環境にも防災においても十分なトイレを公園に整備してもらいたい。
- ・どの公園のトイレがどのように使われているのかについて、IoTなども活用しながら、大田区内の公園のトイレが一元管理できればいいなと思っている。
- ・ある程度の機能はこの公園のトイレでも同じように、クリーンエネルギーや防災に対応する公園のトイレ作りが良いと感じた。

### →基盤工事担当課長

- ・利用満足度では、今後は森ヶ崎公園のサッカー場などは少年少女サッカーの国際規格に基づいて整備されており、その利用率なども踏まえて対応していきたいと考えている。
- ・トイレについては、先ずバリアフリーの対応というのが前面にあり、その対応で動線も含めた整備を行っている所である。
- ・防災公園においては災害時に活用できる公園として作っており、空間や広さを含めて防災的な対応ができる場所では対応したトイレを作っている。

### →都市基盤管理課長

- ・本日の資料は平成27年度から30年度の工事完成写真ということで、多摩川台公園が写っているが、今回の工事は平成30年のバリアフリー化工事となっている。

- ・バリアフリーの基準だけを満たせばよいというのではなく、実際にこちらの施設を利用する方々と整備の前に立ち会い等点検をして、整備後についても点検を行っている。
- ・2点目のトイレについては、だれでもトイレという形で様々な方々が利用できるようになっており、大田区ではこうしたれでもトイレの形式に機能更新を行っている。
- ・都市基盤整備部の中ではこのトイレだけでなく、公園の施設というものを今後公園台帳なども含めて、IT技術なども活用しながら一元的にしっかり管理できるようにしていきたいと考えている。

#### 委員

- ・多摩川台公園には子供が小さい頃はよく行っていたが、こんなに綺麗になったことは知らなかったもので、ぜひもう一度行ってみたい。
- ・その中で気になったのが、今年度のサイン計画の案内表示の中に多摩川自体が描かれておらず、どちら側が川かなと思った。
- ・せっかく多摩川台公園は川との関係が良い場所であるのにも関わらず、案内に川が描かれていないのはどうなのかなと思う。
- ・よくこのような公園の地図なども、自分のいる位置が分からなくなることがあり、目標となる多摩川があることにより関係性がよく見えてくるので、それがもしまだ間に合うのであれば、入れられないか。

#### →基盤工事担当課長

- ・ただいま設計中なので、委員の意見もお聞きして、反映させていければと思っている。

#### 委員

- ・公園のトイレについては、周辺の住民の方のほとんどが反対していることが実情で、大きな公園でも1つしかトイレが整備出来ないなど、一番大変だと思う。
- ・大きな災害の時には大事な場所であるので、やはり自分の家から見えるのは嫌でしょうが、工事する側も目隠しなどを設置するので、ご理解していただきたい。

#### 委員

- ・多摩川台公園の整備では私が最も好きな景観の写真があり、この素晴らしい眺めを活かす開発をしたということは、非常に素晴らしいことだと思う。
- ・多摩川台公園は説明があったように、身体障がい者の方にも来ていただけるような設計となっている。
- ・ある意味では、大田区内の公園の模範となる公園であるため、今後活かして欲しい。
- ・トイレ整備にそんな苦労があったのかを知ったが、ある程度トイレは立派なものにしないと批判は強くなると思うので、作るなら反対のしようがないほど立派なトイレを作っていく価値はあると思う。

- ・多摩川の岸辺にも幾つかトイレがあるが、あのトイレはこれからどうなるのかが疑問である。
- ・洪水があれば流れる危険があるため、簡単に立派なトイレは作れないと思うが、これからどうされるのか、考えがあったら聞かせて欲しい。

#### →基盤工事担当課長

- ・多摩川の河川敷のトイレについては仮設になっており、災害時や台風時は、一時陸の方に上げて移転している。
- ・最近の車椅子対応のものについては、タンクを地下に埋設しており、上部のみ移設可能となっているタイプに代わっている。
- ・タンクは地下に埋めたままという構造となっている。

#### 委員（まちづくり推進部長）

- ・委員から景観の意見をいただいた。
- ・この会議はグリーンプランの会議だが、区の中には景観審議会があり、景観をどうするのかを検討している会議もある。
- ・その中では景観というのは単なる綺麗な景色を保全するというだけではなく、人々の暮らしの中で生かさなければ意味がないということを考えており、グリーンプランと非常に似ている。
- ・公園については、様々な行政需要がある中で公園を整備し直さなければならない場合があり、中には植栽の伐採等が必要な場合がある。
- ・一方では緑を守る、一方では行政需要に対応していかなければならないなど、バランスを取りながら、対応していかなければならない。
- ・緑を保全する一方で、区民の皆様により良い環境を提供するといったこともある。
- ・せっかくなのでこの場で各委員の方々からご感想、ご意見を頂ければと思う。

#### 委員

- ・公園等を工事する側においては、苦勞して工事を行っており、住民対応で工事が止まることもある。
- ・このグリーンプランおた推進会議等において十分議論を行ったうえで、事業を進めていることなどをもっと区民に伝えていくことが必要であるが、なにか良い方法はあるか。

#### →都市基盤管理課長

- ・公園等の整備に入る前には、何度も地元に入り、工事説明会や事前の情報提供等で区民に十分な説明を行うとともに、佐伯山公園など良い事例などを示しながら、説明を行ってきた。
- ・バリアフリー化の事例や利用しやすいトイレの整備事例等を示しながら進めている。
- ・委員のお話にも出たが、機能をしっかりアップして公園の魅力を高めるためには、多摩川台公園もそうだがやむを得ず木を伐採しなくてはならない場面もある。
- ・その際はしっかりと区民の方に事例を挙げながら説明し、新たな公園の整備に繋げていきたい。

**委員**

- ・ おおたの名木選や自然観察路などの情報は、なかなか区民に伝わっていない。
- ・ 18の特別出張所毎にみどりマップを作成しているが、その中におおたの名木選や自然観察路などの情報が入っているのか、確認して欲しい。
- ・ このマップを活用してガイドや緑の確認が出来るよう、活用方法を検討していただきたい。

**委員**

- ・ 蒲田周辺の回遊性については、重要な視点だと思う。
- ・ 森ヶ崎公園は交通の便が良くないというイメージがあり、すぐにバスを増やすということは難しいかもしれないが、多くの方に利用してもらうためにはアクセスの面は非常に大切だと思う。
- ・ 今後施設を整備する際は、アクセスや回遊性の向上も考えていただきたい。

**委員**

- ・ 多摩川台公園の整備について、素晴らしいと思う。
- ・ 地域力推進委員会の中で、この整備について周知が行われているのか。

→ **基盤工事担当課長**

- ・ 個別の地域に対しては周知を行っているが、全体に対しては行っていない。

**委員**

- ・ 今回の資料を見るまで、このような整備を知らなかったため、各地域への周知を行って欲しい。知れば行かれる方も多いのではないかと思う。

→ **基盤工事担当課長**

- ・ そのようにしていきたい。

**委員長**

- ・ 多摩川台公園については、民放で紹介され、古墳ブーム等もあり、古墳を目当てに訪れる方も多いようである。

→ **都市基盤管理課長**

- ・ 多摩川台公園については、6月のアジサイが有名であり、テレビ取材等も受けている。
- ・ その紹介の際には、3,000株のアジサイとともに、バリアフリー化を行っていること、立地性も良いこと等の情報発信を行っていきたい。
- ・ 各地域力推進部においても様々な会議体があるため、今後はさらに積極的に情報発信を行っていきたいと考えている。

#### 委員長

- ・出来るだけ色々な媒体を通じて情報発信を行って欲しい。区でも一所懸命に事業を進めているが、それが中々区民に伝わらない。
- ・資料の中に挟んである“しおり”もその一環であり、十分活用して頂きたい。

#### 委員

- ・景観に関連して、佐伯山公園の東部で正月三が日限定で日の出が見られるということで、普段は閉門しているがその時だけ開門にした経緯がある。
- ・元日は見られなかったが、2日、3日は日の出が見られたようで、とても好評だった。
- ・区の中でも特等席のような場所であり、看板などを提示して、広く周知して欲しいがいかか。

#### 委員

- ・佐伯山公園で日の出が見られるのであれば、来年の元日の区報に載せた方がよいのではないか。
- ・多摩川台公園の整備に関しても、このように良いものができたのであれば、区報の1面に載せ、人々の意識に訴えることが必要ではないか。
- ・これまでの区報にみどりに関する記事で1面掲載はなかったので、画期的な事業を行った際には画期的な方法で伝えていただきたい。

#### 委員

- ・周知という点で、金沢の21世紀美術館では集客を行っていくために、最初に市内の小学生達を無料招待したということを知った。
- ・その際に家族分の無料の入場券を子供たちに配り、子供や孫から楽しかったという情報によって、口コミで面白さが大人に広く伝わっていたということがあった。
- ・この無料で美術館に行けるという手法について、そもそも無料の公園の場合にどのように活用できるのかは分からないが、子ども達の情報発信力を周知に活用できないかと考えている。

#### 委員

- ・佐伯山公園の一番上に昭和25年か26年に建てたお地蔵さんがあるが、きれいになった道の突き当りにあるお地蔵さん自体は整備対象外であった。
- ・そこで地域の方々にチラシを撒いたら、40~50の方が集まって御霊入れができた。
- ・今はボランティアの方が花を植えて下さっていて、ちょっとしたことで地域において多くの方々が動いてくれることを実感した。

#### 副委員長

- ・公園について緑が好きな人は当然知っているが、今まで公園に行ったことのない人にも知ってもらい、整備された多摩川台公園に行ってみたら良いところだった、という感想を持ってもらうことが必要である。
- ・これからの公園は、これまで公園に目も留めなかった方々に、「大田区にはこんなに緑が多かつ

たのか」と感じてもらい、大田区は末永く住みたい街になっていって欲しい。

- ・区報に関しては、区の中でも産業関連や福祉関連の情報は大きく出され、緑に関する記事は小さく、ビジュアルに訴えるものとなっていない。
- ・今は高齢者の方もスマホユーザーが多いので、スマホ向けの媒体も含めて、ビジュアルに訴える情報発信の仕方を考えていけばよいのではないかな。
- ・緑被率は減少しているものの、子どものための施設やバリアフリー、住区基幹公園のリニューアル整備等大田区は他区に比べれば恵まれていることを区民は承知していないし、これだけの公園が整備されていることも知られていない。
- ・幼児用のスペースを整備している等もう少しアピールをし、区民のライフスタイルの中に公園やみどりのことを自然に取り入れていけるような工夫が必要である。
- ・公園の更新に関しては先ほどの景観に関する意見もあったが、多摩川台公園では木を伐採することによって、川への眺望を確保しているということである。
- ・文化庁の「国の名勝指定」の委員をしている中で、文化庁が指示することはどちらかといえば木の伐採であり、昔ながらの石組みや借景が見えるためには、木を剪定することも必要である。
- ・多摩市は木を切らないで欲しいとの要望が強い所であるが、全街路樹の調査と方針の検討に取り組んだ際、なぜ街路樹を更新しなければならないかについて検討すると、根上りによるベビーカーの通り難さや木が大きくなりすぎて子供から見えないなどの理由があった。
- ・また、公園等のみどりは人工的に創られたものであり、大規模なメンテナンスや交換が必要なものである。
- ・適切に行わないで放置すると、高所作業車や交通止めでの作業が必要になる等、メンテナンスコストの増加につながるということを住民に説明し、その費用はだれが負担するのかを訴えた。
- ・特別緑地保全地区などは、こんもりした木々を保全した方がよいが、公園については、こんもりし過ぎて暗がりが増えないよう、安心安全が確保されていることが一番であり、木の更新ということをこれからの計画の中に織り込んで検討して、お金がかかるということを区民の方々に理解して頂くことが必要である。
- ・最後に、今までのみどりがほんとに美しいのかどうかという視点を今後のみどりの基本計画の中に入れて頂きたい。
- ・特に、住区基幹公園などでは、美しくて居心地が良くて、毎日行きたい公園であるかどうかを一つの指標として、居心地の良い公園とはどういうものであるかということを考えていく必要がある。

#### 委員長

- ・最後の3点目は、部長がお聞きになったことへの回答かと思われる。

#### 委員（まちづくり推進部長）

- ・何を目的として利用するのが重要であり、利用する人が快適で楽しんでいただき、また来た

いなと思っていただくことが必要であると感じた。

- ・これまで公園や公共施設が中心であったが、特別緑地保全地区の活用について補足していく。
- ・みどりの実態調査において樹林地の箇所数が 200 箇所減少しているが、樹林地の面積については、臨海部の公園整備によって増加している。
- ・特に民間の樹林地が減少しており、この民地の樹林地を減らないための制度が特別緑地保全地区である。
- ・この制度は、相続税の減免措置や税の優遇措置等が図られることにより、極力樹林地を減らさないようにするための制度である。
- ・これを利用して、区民の皆様の財産を守り、結果としてみどりを守っていくことでグリーンプランおたを推進していこうと考えている。

#### 委員（都市基盤整備部長）

- ・公園を造成していく立場から、利用も含めた公園整備前後の評価指標が必要と考えている。
- ・良い公園を作ってもPRが不足しているという意見も出たので、整備したら皆様に見ていただける方法を考えていきたい。
- ・公園の活用について、地元発による展開も見られており、10 年位前から森ヶ崎公園の展望台からの初日の出のための開門や、池上梅園での 1 週間ほどの夜間ライトアップ実施(NHK で放映)などを行っている。
- ・もっと情報発信が必要であり、良い公園をつくりながら適切な情報発信を行って、区民に愛される公園づくりを行っていく。

#### 委員（環境清掃部長）

- ・環境清掃部においては報告した5つの事業をしっかりとやっていくとともに、本日ご指摘のあった通り、やっていることを区民にもっともっとPRしていくためのアイデアを考えていく必要がある。

#### 委員長

- ・高知や九州での豪雨災害等が発生している。
- ・このところ、関東では大規模な災害、天災は発生していないが、リスク管理が重要である。
- ・公園においても大木管理が必要であり、自然災害による大木の倒壊などみどりが悪者とならないような対策もリスク管理の面からは必要ではないか。

### 3 閉会